

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド (年1回決算型) -ロボテック (年1回) -

運用報告書 (全体版) 第4期

(決算日 2019年9月13日)

(作成対象期間 2018年9月14日~2019年9月13日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約9年7カ月間 (2016年2月8日~2025年9月12日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIM・グローバル・ロボット関連株ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1期末(2016年9月13日)	円 10,716	円 0	% 7.2	10,028	% 0.3	% 0.0	% 99.2	百万円 2,408
2期末(2017年9月13日)	15,196	0	41.8	13,019	29.8	-	97.8	10,790
3期末(2018年9月13日)	16,656	0	9.6	14,328	10.1	-	99.3	18,912
4期末(2019年9月13日)	16,714	0	0.3	14,603	1.9	-	99.3	14,917

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

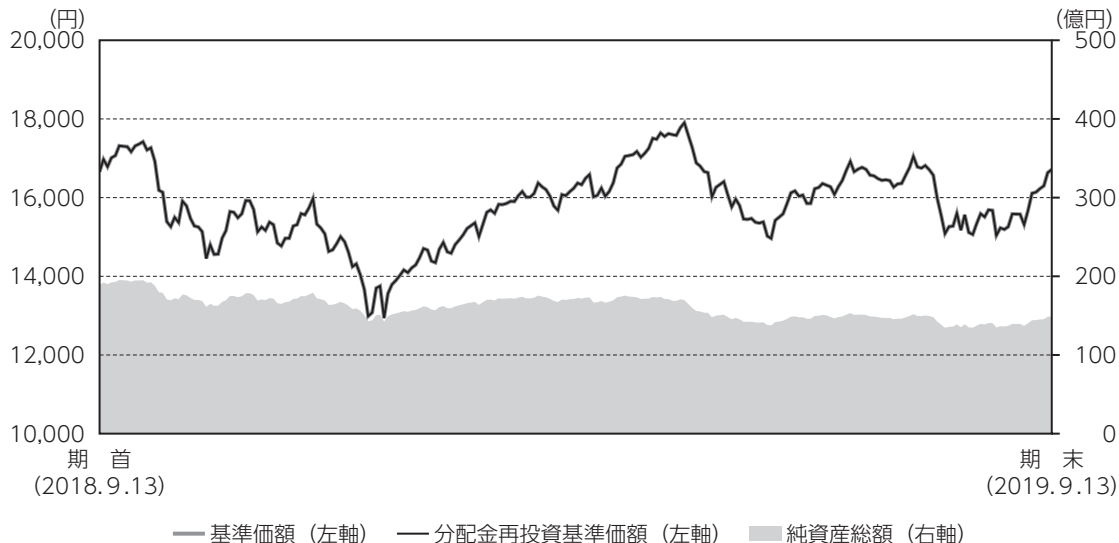
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：16,656円

期末：16,714円（分配金0円）

騰落率：0.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有銘柄の株価上昇がプラス要因となりましたが、米ドルやユーロが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、小幅に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2018年 9月13日	円 16,656	% -	14,328	% -	% -	% 99.3
9 月末	17,313	3.9	14,916	4.1	-	99.3
10月末	14,969	△10.1	13,552	△ 5.4	-	99.1
11月末	15,561	△ 6.6	13,931	△ 2.8	-	98.9
12月末	13,751	△17.4	12,553	△12.4	-	98.0
2019年 1 月末	14,806	△11.1	13,335	△ 6.9	-	99.3
2 月末	16,014	△ 3.9	14,119	△ 1.5	-	99.3
3 月末	16,159	△ 3.0	14,172	△ 1.1	-	99.5
4 月末	17,590	5.6	14,784	3.2	-	99.9
5 月末	15,381	△ 7.7	13,804	△ 3.7	-	99.3
6 月末	16,435	△ 1.3	14,316	△ 0.1	-	99.1
7 月末	16,710	0.3	14,649	2.2	-	99.1
8 月末	15,585	△ 6.4	13,867	△ 3.2	-	99.5
(期末) 2019年 9月13日	16,714	0.3	14,603	1.9	-	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.9.14~2019.9.13)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました（現地通貨ベース）。

グローバル株式市場は、当作成期首より緩やかな上昇基調で始まりましたが、2018年10月に入ると、米国の長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦の長期化への懸念などから、大幅な下落となりました。年末にかけても、中国通信機器大手メーカー幹部の逮捕をきっかけとした米中関係の悪化や米国の政府機関の一部閉鎖などを受けて下落しました。年が明けると、米中通商協議に進展が見られたことなどからグローバル株式市場は反発に転じました。また、中国における製造業の景況感の改善や総じて堅調な企業決算などを受けて、4月末まで上昇を続けました。しかし5月に入ると、米国は中国製品に対する関税率引き上げを発表するなど米中関係が急速に悪化し、下落しました。6月に入り、F R B（米国連邦準備制度理事会）やE C B（欧州中央銀行）が景気を支えるために必要な手段を取ると表明したことから株式市場に安心感が広がり上昇に転じ、7月半ばから後半にかけて米国の主要株価指数は史上最高値を更新しました。しかし、8月初めに米国が新たに中国製品に対する関税を表明すると、中国も米国からの農産物購入の停止などの対抗措置を表明したことから、米中の貿易摩擦が再び激化しました。世界景気の減速感が強まり世界的に長期金利が低下し、米国で2年国債利回りが10年国債利回りを上回る「逆イールド」も見られるなど景気後退懸念が強まり、株式市場は大きく下落しました。9月に入ると、これらのリスクはいったん後退し、株式市場もやや落ち着きを取り戻して当作成期末を迎えました。

■為替相場（米ドル/円、ユーロ/円）

為替相場は、米ドル、ユーロともに円に対して下落しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2018年12月中旬にかけて、おおむねボックス圏で推移しました。2019年初めにかけては、株式市場が下落する中で投資家のリスク回避姿勢が強まり下落しました。3月中旬にかけては、過度な懸念が後退する中で、米中通商協議の進展期待などを受けて上昇基調となりました。その後は、トランプ米国大統領が中国製品への関税率引き上げ方針を示したことで米中貿易摩擦激化への懸念が強まったことや、米国での利下げ期待の高まりによって米国金利が低下したことなどを受けて、おおむね下落基調で推移しました。

ユーロ円相場は、当作成期首より、トルコなどの新興国市場への懸念が後退したことから上昇して始まりました。しかしその後は、景気後退懸念や政治の先行き不透明感などが重しとなり、2019年初めにかけて下落しました。3月中旬にかけては、リスク回避姿勢が後退したことなどから上昇しました。その後は、トランプ大統領が中国製品への関税率引き上げ方針を示したことで米中貿易摩擦激化への懸念が強まったことや、イタリアの政治の先行き不透明感が高まったことなどを受けて、おおむね下落基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

足元は貿易摩擦への懸念や米国の金利上昇圧力による景気減速懸念などの不透明要素がある中、グローバル株式市場は全般的に上値の重い環境が続いていますが、当ファンドで投資する企業の多くは業績好調で、今後の事業見通しも良好です。2018年年初から8月末までの時点では、保有銘柄の収益の伸びは株価の上昇を上回っています。つまり、ロボットや自動化関連銘柄のバリュエーションは割安な水準にあるといえます。運用チームでは、企業のファンダメンタルズにフォーカスし、株価が弱含む局面があれば、中長期的に確信度の高い銘柄を積み増す好機として考えています。また、不透明感がある環境では、景気や短期的な需要のサイクルに左右されにくいヘルスケア・セクターやソフトウェア・セクターの組み入れが当ファンドのパフォーマンスを支えるものとみています。今後も、将来的に成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行なうことでファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018.9.14~2019.9.13)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面では、アマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からテラデザインやシリコン・ラボラトリーズなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別では、ロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国や日本を中心に投資しました。

当作成期は、マテリアルハンドリング大手のダイフクを新規に組み入れた一方、フランスの自動車部

品メーカーのヴァレオを全売却しました。また、自動車向けや5G（第5世代移動通信システム）関連分野での需要が高まっている半導体関連銘柄の組み入れを増やしました。米国のアナログ・デバイスやアドバンスト・マイクロ・デバイス（AMD）を新規に組み入れた一方、株価が大きく上昇したゼイリンクスは一部売却して利益を確定しました。その他のセクターでは、2019年年初から大きく上昇した米国のソフトウェア関連企業のケイデンス・デザイン・システムズや日本のキーエンスなどの自動化関連銘柄を一部売却し利益を確定しました。

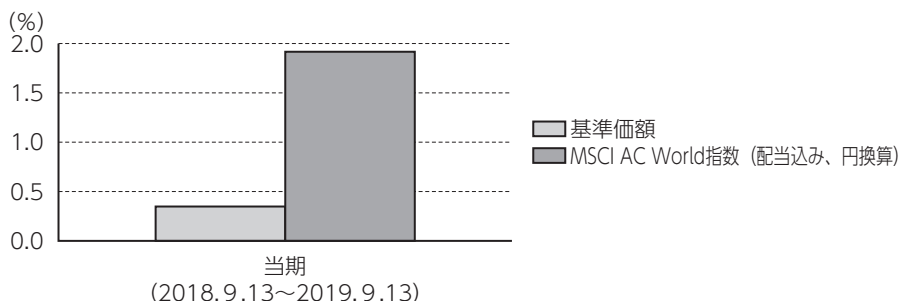
■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2018年9月14日 ～2019年9月13日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,714

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、さまざまなロボット関連産業の企業に投資します。「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業、「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業、「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業等に注目しています。今後は、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことでファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.9.14~2019.9.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	192円	1.215%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,810円です。
（投 信 会 社）	(60)	(0.378)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(128)	(0.810)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	193	1.223	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

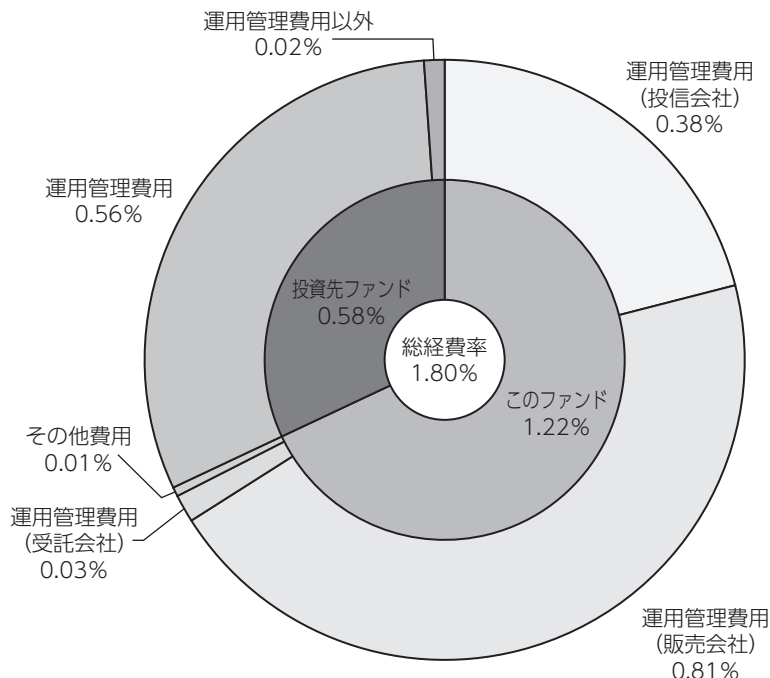
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年9月14日から2019年9月13日まで)

国	買付	付		付	
		口数	金額	口数	金額
内	千口	千円	千口	千円	
	423,260.38	550,000	3,300,665.523	4,776,000	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月14日から2019年9月13日まで)

決算期	当 期					
	買付額等			売付額等		
区分	A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
公社債	百万円 250	百万円 250	100.0	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	13,708,351	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料総額の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口数	評価額	比率
国内投資信託受益証券 アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	9,960,702.732	14,810,568	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口	千口	千円
	100	100	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月13日現在

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 14,810,568	% 98.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	239,804	1.6
投資信託財産総額	15,050,474	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,050,474,255円
コール・ローン等	239,804,615
投資信託受益証券(評価額)	14,810,568,892
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,748
(B) 負債	133,242,847
未払解約金	39,153,631
未払信託報酬	93,454,615
その他未払費用	634,601
(C) 純資産総額(A - B)	14,917,231,408
元本	8,924,941,253
次期繰越損益金	5,992,290,155
(D) 受益権総口数	8,924,941,253口
1万口当り基準価額(C/D)	16,714円

*期首における元本額は11,354,764,977円、当作成期間中における追加設定元本額は1,262,084,181円、同解約元本額は3,691,907,905円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は16,714円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月14日 至2019年9月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 105,011円
受取利息	18,552
支払利息	△ 123,563
(B) 有価証券売買損益	345,480,088
売買益	593,237,334
売買損	△ 247,757,246
(C) 信託報酬等	△ 196,921,345
(D) 当期損益金(A + B + C)	148,453,732
(E) 前期繰越損益金	1,048,505,187
(F) 追加信託差損益金	4,795,331,236
(配当等相当額)	(1,431,935,197)
(売買損益相当額)	(3,363,396,039)
(G) 合計(D + E + F)	5,992,290,155
次期繰越損益金(G)	5,992,290,155
追加信託差損益金	4,795,331,236
(配当等相当額)	(1,431,935,197)
(売買損益相当額)	(3,363,396,039)
分配準備積立金	1,197,063,947
繰越損益金	△ 105,028

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	148,468,439
(c) 収益調整金	4,795,331,236
(d) 分配準備積立金	1,048,595,508
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,992,395,183
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,992,395,183
(h) 受益権総口数	8,924,941,253口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）－ロボテック（年1回）－）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年9月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年9月14日から2019年9月13日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
801 国庫短期証券	2019/3/18		千円 250,003				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年9月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

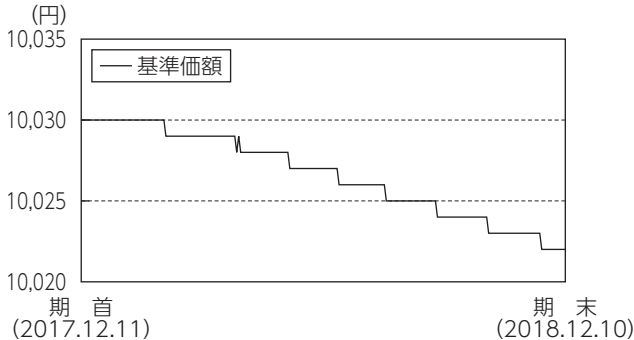
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債比率	
	円	騰落率 %	%	%
(期首)2017年12月11日	10,030	-	-	-
12月末	10,030	0.0	-	-
2018年 1 月末	10,030	0.0	-	-
2 月末	10,029	△0.0	0.5	-
3 月末	10,029	△0.0	-	-
4 月末	10,028	△0.0	-	-
5 月末	10,027	△0.0	-	-
6 月末	10,026	△0.0	-	-
7 月末	10,025	△0.0	-	-
8 月末	10,025	△0.0	-	-
9 月末	10,024	△0.1	-	-
10 月末	10,023	△0.1	-	-
11 月末	10,022	△0.1	-	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量の・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	(570,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公社債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001		
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A - B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1口当たり基準価額(C / D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジードットコム・インデックス・インデックス・ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジードットコム・インデックス・インデックス(為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジードットコム・インデックス(年1回決算型) -ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式会社・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード - 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の楯音(つちおと) - 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジードットコム・インデックス(年1回決算型) -ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（平成37年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行いません。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績向上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。	
	②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。		

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第7期（決算日 2019年8月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第7期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分 配 金	期騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
3 期末(2017年 8 月14日)	12,384	0	10.9	95.8	215,871
4 期末(2018年 2 月13日)	14,072	0	13.6	97.5	375,075
5 期末(2018年 8 月13日)	14,399	0	2.3	98.6	410,772
6 期末(2019年 2 月13日)	13,790	0	△ 4.2	98.8	361,683
7 期末(2019年 8 月13日)	13,476	0	△ 2.3	98.5	281,035

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

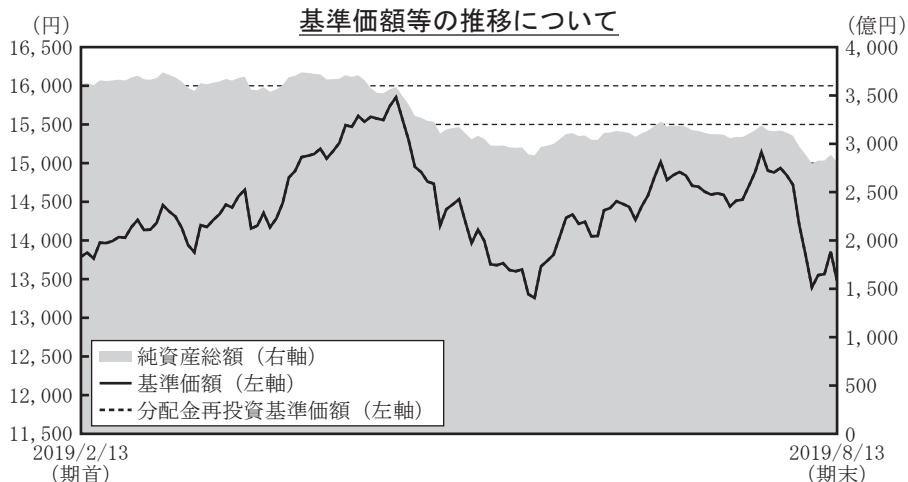
年 月 日	基準価額		株組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2019年 2 月13日	円	%	%
2 月末	13,790	—	98.8
3 月末	14,140	2.5	98.7
4 月末	14,283	3.6	99.1
5 月末	15,574	12.9	97.2
6 月末	13,626	△ 1.2	97.8
7 月末	14,582	5.7	98.3
7 月末	14,845	7.7	99.1
(期末) 2019年 8 月13日	13,476	△ 2.3	98.5

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2019年2月14日～2019年8月13日）



期 首：13,790円

期 末：13,476円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：△2.3%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となりましたが、円高がマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル金融市場は、米中貿易摩擦や世界経済に対する先行き不透明感から、変動の激しい展開となりました。期初はFRB（米連邦準備制度理事会）が金融政策への態度を変更したことや堅調な企業決算を受け、株式市場は上昇しました。しかし、5月に米中貿易摩擦激化懸念が高まり、株式市場は急落しました。6月末に米中首脳会談が行われ、米中関係に進展が見られたことを受け、株式市場は急回復を見せました。8月に入ると、トランプ大統領は中国製品3,000億ドル相当の輸入品に関して10%の関税を9月1日から実施すると表明、これに対して中国も米国からの農産物の一部を輸入停止、人民元安を容認し、節目となる1ドル＝7円を突破するなど貿易摩擦が激化し、株式市場は下落しました。欧州では、景気減速が懸念されますが、次期ECB（欧州中央銀行）総裁のラガルド氏が緩和的な金融政策を行うとの期待が市場を支えています。英国ではEU離脱（ブレグジット）強硬派のジョンソン氏が首相に就任しました。ブレグジットの期限は10月31日ですが、その動向には注視が必要です。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の111円台から期末には105円台、ユーロ・円レートは期初の125円台から期末には118円台となりました。

当期は、米中関係の悪化を受け、リスク回避姿勢が高まったことにより、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。期中には、好調な米国経済や米中貿易摩擦懸念の緩和、米長期金利の大幅利下げ観測の後退等でドル高が進む場面もありました。しかし、8月に入ると、

米中貿易摩擦が激化し、再びリスク回避姿勢が高まり、円は主要通貨に対して円高となりました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からテラデザインやライト・メディカル・グループなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、米国のアナログ・デバイス、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ、オランダのNXPセミコンダクターズ等、半導体企業を新規で組み入れました。一方、米国の電気自動車メーカーのテスラを全額売却しました。同社のモデル3の収益性に対する懸念が徐々に高まっていることが売却の背景にあります。当社では電気自動車の需要については強気に見ており、またテスラの自動運転技術に関しても進展が見られますが、自動運転関連では車載半導体などの他の投資機会に投資する方が良いと判断しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第7期
		2019年2月14日～2019年8月13日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	— %
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		4,351

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2019年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2019年2月14日～2019年8月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.281%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,454円です。
（投 信 会 社）	(39)	(0.268)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.018	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(3)	(0.018)	
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.007)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	44	0.307	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2019年2月14日～2019年8月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	—	—	66,821,448	82,226,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2019年2月14日～2019年8月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	148,222,126千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	347,198,727千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.42

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年2月14日～2019年8月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2019年2月14日～2019年8月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2019年8月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	318,611,523	251,790,074	280,871,828

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2019年8月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	280,871,828	99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,099,874	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	281,971,703	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（249,145,962千円）の投資信託財産総額（299,724,408千円）に対する比率は、83.1%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.43円、1台湾ドル=3.36円、1英ポンド=127.33円、1ユーロ=118.17円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年8月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	281,971,703,004円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	299,874,705
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	280,871,828,299
未 収 入 金	800,000,000
(B) 負 債	936,572,111
未 払 信 託 報 酬	935,972,597
そ の 他 未 払 費 用	599,514
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	281,035,130,893
元 本	208,549,294,874
次 期 繰 越 損 益 金	72,485,836,019
(D) 受 益 権 総 口 数	208,549,294,874口
1万口当り基準価額(C/D)	13,476円

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 期首元本額 | 262,272,544,421円 |
| 期中追加設定元本額 | 108,256,352円 |
| 期中一部解約元本額 | 53,831,505,899円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1.3476円 |

■損益の状況

当期（自 2019年2月14日 至 2019年8月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 23,294円
受 取 利 息	1,081
支 払 利 息	△ 24,375
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,626,175,664
売 買 益	5,724,145,230
売 買 損	△11,350,320,894
(C) 信 託 報 酬 等	△ 936,586,691
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 6,562,785,649
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	35,479,889,285
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	43,568,732,383
(配 当 等 相 当 額)	(41,422,365,217)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,146,367,166)
(G) 計 (D + E + F)	72,485,836,019
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	72,485,836,019
追 加 信 託 差 損 益 金	43,568,732,383
(配 当 等 相 当 額)	(41,422,386,881)
(売 買 損 益 相 当 額)	(2,146,345,502)
分 配 準 備 積 立 金	49,337,731,368
繰 越 損 益 金	△20,420,627,732

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（784,738,906円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（41,422,386,881円）および分配準備積立金（48,552,992,462円）より分配対象収益は90,760,118,249円（10,000口当たり4,351.97円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよび消費者向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日：2019年8月13日）

（計算期間 2018年8月14日～2019年8月13日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株式組入比率	純資産額
		期騰	中率		
(設定日) 2015年12月8日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 95
1期末(2016年8月15日)	7,435	△25.7	96.8	96.8	108,241
2期末(2017年8月14日)	10,127	36.2	95.8	95.8	234,330
3期末(2018年8月13日)	11,852	17.0	98.6	98.6	436,627
4期末(2019年8月13日)	11,155	△5.9	98.6	98.6	298,397

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

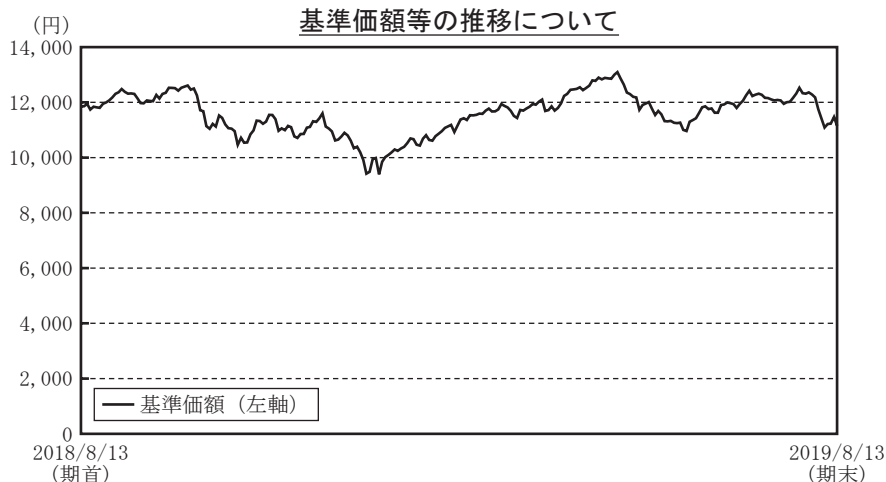
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率
		騰	落率	
(期首) 2018年8月13日	円 11,852	% —	% 98.6	% 98.6
8月末	12,380	4.5	97.8	97.8
9月末	12,530	5.7	98.0	98.0
10月末	10,844	△8.5	96.9	96.9
11月末	11,294	△4.7	97.6	97.6
12月末	9,987	△15.7	97.5	97.5
2019年1月末	10,775	△9.1	98.6	98.6
2月末	11,673	△1.5	98.7	98.7
3月末	11,797	△0.5	99.1	99.1
4月末	12,868	8.6	97.1	97.1
5月末	11,267	△4.9	97.6	97.6
6月末	12,061	1.8	98.1	98.1
7月末	12,284	3.6	98.9	98.9
(期末) 2019年8月13日	11,155	△5.9	98.6	98.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2018年8月14日～2019年8月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に欧州と日本の保有銘柄の株価が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル金融市場は、変動の激しい展開となりました。期前半は、米連邦準備理事会（FRB）の利上げ継続姿勢や米中貿易摩擦激化への懸念に加えて、トランプ政権における相次ぐ高官の辞任、米政府機関の一部閉鎖などが影響し、12月にグローバル株式市場は大きく下落しました。1月に入ると、FRBがバランスシート縮小の早期終了の可能性や利上げに対する慎重な姿勢を示したこと、米政府機関が期限付きながら再開したこと、そして企業の決算発表が予想を上回る結果となっていることから、株式市場は大きく反発、グローバル株式市場は4月まで上昇基調で推移しました。しかし、5月に入ると米中貿易摩擦激化懸念が高まり、株式市場は急落しました。6月末に米中首脳会談が行われ、米中関係に進展が見られたことを受け、株式市場は急回復を見せましたが、8月に入ると、トランプ大統領は中国製品3,000億ドル相当の輸入品に関して10%の関税を9月1日から実施すると表明、貿易摩擦が激化し、株式市場は下落しました。欧州では、景気減速が懸念されますが、次期ECB（欧州中央銀行）総裁のラガルド氏が緩和的な金融政策を行うとの期待が市場を支えています。英国ではEU離脱（ブレグジット）強硬派のジョンソン氏が首相に就任しました。ブレグジットの期限は10月31日ですが、その動向には注視が必要です。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の111円台から期末には105円台、ユーロ・円レートは期初の126円台から期末には118円台となりました。

米ドルについては、期初は世界的な株高からリスク選好が強まったことや、欧米の債券利回りが上昇したことから、米ドル、ユーロといった主要通貨に対して円は下落しました。しかし、米中貿易摩擦の激化懸念や各

国の政治を巡る問題等で、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からテラダインやライト・メディカル・グループなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、インテュイティブサージカルなどのロボット手術向けにモーション・コントロールを供給しているカナダのノバンタ、製造業や物流センター向けにマテリアルハンドリング（マテハン）機器を供給している日本のダイフクを新規で組み入れました。また、米国のアナログ・デバイセズ、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ、オランダのNXPセミコンダクター等、半導体企業を新規で組み入れました。一方、日本の半導体企業のルネサスエレクトロニクス、2018年に相対的に底堅いパフォーマンスを示した米国の医療機器のストライカー、米国の電気自動車メーカーのテスラを全額売却し、より有望な銘柄の買い増しを行いました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2019年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	4円 (4)	0.031% (0.031)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.015 (0.015)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	5	0.046	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は11,592円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2018年8月14日～2019年8月13日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 1,080	千円 7,058,397	千株 12,049	千円 29,066,261
	外 国	百株 97,985	千米ドル 435,737 (△3,753)	百株 156,094	千米ドル 1,164,970
国	台 湾	7,970	千台湾ドル 211,007	21,970	千台湾ドル 544,572
	イ ギ リ ス	13,123	千英ポンド 13,944	6,010	千英ポンド 7,224
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	1,425	4,807	7,125	25,279
	フ ラ ン ス	632	3,682	13,585	51,253
	ド イ ツ	4,349	22,545	17,536	78,345
	そ の 他	41,952	15,522	947	376

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	245,065,493千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	366,713,601千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄 (2018年8月14日～2019年8月13日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ダイフク	968	4,600,649	4,751	ROCKWELL AUTOMATION INC	396	8,127,525	20,483
AUTODESK INC	265	4,255,183	16,004	CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	3,340	7,622,290	2,282
ANALOG DEVICES	319	3,865,255	12,108	HOLOGIC INC	1,331	5,942,919	4,463
NXP SEMICONDUCTORS NV	378	3,792,773	10,016	XILINX INC	458	5,900,848	12,867
BLACKBERRY LTD	3,545	3,536,089	997	PARKER HANNIFIN CORP	286	5,891,274	20,543
NOVANTA INC	467	3,491,582	7,469	CISCO SYSTEMS	943	5,682,995	6,020
ADVANCED MICRO DEVICES	854	2,729,052	3,195	三菱電機	4,368	5,670,284	1,298
ANSYS INC	147	2,592,995	17,566	AMAZON.COM INC.	24	5,249,810	211,720
PTC INC	268	2,550,877	9,501	CADENCE DESIGN SYS INC	894	5,216,376	5,830
ABIOMED INC	76	2,195,243	28,677	BAIDU INC - SPON ADR	342	4,897,343	14,293

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2018年8月14日～2019年8月13日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2018年8月14日～2019年8月13日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2019年8月13日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末	当期末	
	株数	評価額	金額
	千株	千株	千円
機械 (27.4%)			
ナブテスコ	1,569	1,170	3,442,146
SMC	197	147	5,761,350
ダイフク	—	772	3,709,440
電気機器 (63.9%)			
三菱電機	4,368	—	—
安川電機	1,711	1,276	4,220,154
日本電産	493	368	5,046,181
オムロン	1,171	873	4,410,670
ルネサスエレクトロニクス	5,325	—	—
キーエンス	223	166	10,046,610
ファナック	442	359	6,399,175
卸売業 (8.7%)			
ミスミグループ本社	2,367	1,765	4,102,185
合計	17,869	6,900	47,137,912
	株数・金額	株数	金額
	銘柄数<比率>	9	<15.8%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
NXP SEMICONDUCTORS NV	—	3,681	36,170	3,813,491	半導体・半導体製造装置
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	19,384	15,183	31,537	3,324,954	ヘルスケア機器・サービス
ABIOMED INC	—	756	14,501	1,528,853	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	—	9,402	16,228	1,710,998	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADVANCED MICRO DEVICES	—	8,323	26,991	2,845,746	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC	7,260	4,121	34,025	3,587,268	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD	7,062	5,232	46,136	4,864,193	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	995	878	103,228	10,883,414	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC.	700	483	86,386	9,107,734	小売
ANALOG DEVICES	—	2,786	30,357	3,200,574	半導体・半導体製造装置
ANSYS INC	2,115	2,736	56,648	5,972,486	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	4,737	2,992	59,999	6,325,742	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	4,198	3,126	42,618	4,493,288	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	4,224	4,224	62,885	6,630,004	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	3,426	—	—	—	メディア・娯楽
BECTON DICKINSON & CO	2,794	1,646	41,011	4,323,893	ヘルスケア機器・サービス
BLACKBERRY LTD	—	30,216	20,668	2,179,039	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	18,936	9,989	68,647	7,237,462	ソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	19,948	10,509	54,168	5,710,972	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNEX CORP	15,463	12,478	53,671	5,658,544	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	24,225	—	—	—	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	4,974	3,887	59,058	6,226,493	ヘルスケア機器・サービス
GLOBUS MEDICAL INC-A	6,997	5,210	25,360	2,673,775	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	13,315	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	4,491	3,344	55,171	5,816,734	資本財
IPG PHOTONICS CORP	3,646	2,715	32,214	3,396,408	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	2,134	1,589	46,161	4,866,801	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	1,855	1,709	87,175	9,190,935	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	10,521	6,653	38,303	4,038,363	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	6,409	5,212	45,503	4,797,402	半導体・半導体製造装置
NOVANTA INC	—	3,815	27,124	2,859,769	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NVIDIA CORP	2,612	1,945	29,465	3,106,548	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	6,097	4,541	29,680	3,129,194	ヘルスケア機器・サービス
PTC INC	11,433	10,877	70,322	7,414,123	ソフトウェア・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	4,530	1,662	26,852	2,831,070	資本財
QUALCOMM INC	12,936	11,862	82,797	8,729,387	半導体・半導体製造装置
ROCKWELL AUTOMATION INC	3,967	—	—	—	資本財
SILICON LABORATORIES INC	5,353	5,568	57,821	6,096,117	半導体・半導体製造装置
STRYKER CORP	2,691	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	20,297	15,115	78,977	8,326,630	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.	535	—	—	—	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC	6,050	5,328	63,984	6,745,874	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	3,831	2,853	77,605	8,181,909	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄	株数	前期末 株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千米ドル	千円	
(アメリカ)						
TRIMBLE INC		百株 20,254	百株 16,110	59,946	6,320,175	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XILINX INC		8,105	3,519	36,310	3,828,192	半導体・半導体製造装置
AMBARELLA INC		8,582	6,391	28,491	3,003,828	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	305,656	248,685	1,944,213	204,978,403	
(台湾)						
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		91,650	77,650	千台湾ドル 1,949,015	6,548,690	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	91,650	77,650	1,949,015	6,548,690	
(イギリス)						
OCADO GROUP PLC		14,931	22,044	千英ポンド 26,287	3,347,198	小売
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,931	22,044	26,287	3,347,198	
(オランダ)						
KONINKLIJKE PHILIPS NV		18,369	12,670	千ユーロ 52,524	6,206,788	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	18,369	12,670	52,524	6,206,788	
(フランス)						
SCHNEIDER ELECTRIC SE		6,676	4,506	千ユーロ 32,927	3,891,023	資本財
VALEO SA		10,784	—	—	—	自動車・自動車部品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	17,460	4,506	32,927	3,891,023	
(ドイツ)						
CONTINENTAL AG		2,388	1,778	千ユーロ 19,737	2,332,401	自動車・自動車部品
DUERR AG		11,256	8,382	19,137	2,261,435	資本財
SIEMENS AG		7,183	6,010	53,264	6,294,310	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG		33,426	27,107	43,534	5,144,460	半導体・半導体製造装置
KION GROUP AG		10,125	7,913	33,863	4,001,648	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	64,379	51,192	169,537	20,034,256	
(その他)						
MAREL HF		—	41,005	千ユーロ 17,263	2,039,983	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	41,005	17,263	2,039,983	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	100,209	109,374	272,252	32,172,051	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	512,448	457,754	—	247,046,344	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 294,184,257	% 98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,540,151	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	299,724,408	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建資産(249,145,962千円)の投資信託財産総額(299,724,408千円)に対する比率は、83.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.43円、1台湾ドル=3.36円、1英ポンド=127.33円、1ユーロ=118.17円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	299,724,408,403円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,774,669,605
株 式(評価額)	294,184,257,240
未 収 入 金	1,638,895,935
未 収 配 当 金	126,585,623
(B) 負 債	1,327,257,941
未 払 金	527,143,398
未 払 解 約 金	800,000,000
そ の 他 未 払 費 用	114,543
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	298,397,150,462
元 本	267,501,155,254
次 期 繰 越 損 益 金	30,895,995,208
(D) 受 益 権 総 口 数	267,501,155,254口
1万口当り基準価額(C/D)	11,155円

- 期首元本額 368,413,075,965円
期中追加設定元本額 2,302,420,788円
期中一部解約元本額 103,214,341,499円
- 1口当たりの純資産額 1.1155円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 251,790,074,675円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 15,711,080,579円
期末元本合計 267,501,155,254円

■損益の状況

(2018年8月14日～2019年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,695,185,204円
受 取 配 当 金	3,610,050,987
受 取 利 息	70,720,558
そ の 他 収 益 金	15,603,617
支 払 利 息	△ 1,189,958
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△19,136,435,796
売 買 益	30,414,602,961
売 買 損	△49,551,038,757
(C) そ の 他 費 用	△ 53,275,837
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△15,494,526,429
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	68,214,600,926
(F) 解 約 差 損 益 金	△22,071,658,501
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	247,579,212
(H) 計 (D+E+F+G)	30,895,995,208
次 期 繰 越 損 益 金(H)	30,895,995,208

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。